

令和4年5月9日

酒田記者クラブ加盟社 各位

RPA および AI-OCR の導入に向けた実証実験について

本市では、デジタル変革戦略に掲げる3本柱の一つである「行政のDX」を推進するため、RPA(※1)及びAI-OCR(※2)の導入に向けた実証実験を実施しました。つきましては、取材等に関し特段のご配慮を賜りますようお願いいたします。

◆ポイント

- RPA 及び AI-OCR の活用により、単純・定型的業務を自動化し、人的資源を高付加価値業務に集中させて生産性の向上を図り、市民サービスの向上及び職員の働き方改革を推進することを目的としています。
- 実証の結果、対象業務の業務時間について、約30～60%の削減効果がありました。
- LGWAN-ASP サービスを利用した AI-OCR は、山形県内の地方公共団体において初めての導入となります。

<実証実験の概要>

- 期間：令和3年6月～令和4年3月
- 受託者：(株)YCC 情報システム庄内支社
- 結果概要：下表参照（詳細は別添資料のとおり）

No	業務名	適用ツール	適用前	適用後	差	削減率
1	軽自動車税申告書入力業務	RPA・AI-OCR	114時間	77時間	37時間	約30%削減
2	農地台帳入力業務	RPA	66時間	37時間	29時間	約44%削減
3	国民健康保険事業月報作成業務	RPA・AI-OCR	168時間	89時間	79時間	約47%削減
4	筋力トレーニング室利用者情報入力業務	RPA・AI-OCR	122時間	50時間	72時間	約60%削減

※1…「Robotic Process Automation」の略語で、パソコンを使った業務をソフトウェア型のロボットを使って自動化する仕組み

※2…従来のOCR技術とAIを組み合わせ、学習した内容に基づいてルールを見いだして読み取る技術のことで、紙や画像中に記載された手書きの漢字や数字などを、高い精度でテキストデータに変換するツール

●お問い合わせ／情報企画課デジタル変革戦略室 小林裕介
Tel 43-8336 Eメール dx@city.sakata.lg.jp